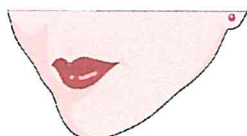




歯科検診

顎関節症は近年急に増加の傾向にあります。
10代半ば～20～30代（特に多い）、高齢者まで。
女性に多いといわれます。



あごの関節（顎関節）周辺になんらかの異常がある
慢性的な症状をもつ疾患です。

「あごが痛い」

「口が痛くて開けづらい」

「あごが鳴る」

「急にかみ合わせが変わった」

「硬いものを食べたらあごが痛い」

～めまいや痛みが全身に～食事
をすることが困難～重症になると手術といった症状があります。

近年若い患者数が増加している
のは生活習慣や食習慣などが影
響しているから、と言われる



■顎関節症の主な原因

- 1、 歯ぎしり
- 2、 かみ合わせ（かぶせた金属など）
- 3、 ストレス
- 4、 姿勢の悪さ（猫背）
- 5、 物を食べる時、片方だけで噛む
- 6、 長時間又は頻度の頬杖
- 7、 電話の受話器を肩とあごで挟んでいる



こんな症状があったら・・・

痛みの余りない時は、そのまま様子を見ていて治る
事もあります。

痛みの症状がある方も、1年足らずで症状が軽減する
方も多くいます。

一週間以上たっても痛みが軽くなり、強くなって
きた時は**歯科を受診**して



＜顎関節症の治療＞

- 1、 薬物療法
鎮痛剤、消炎剤、筋弛剤などの投与
- 2、 スプリント療法
かみ合わせを調整する顎関節用マウスピースの装着
- 3、 あわない歯のかぶせものを取り替える
抜歯後の歯の治療を怠らない。（ブリッジや義歯をいれる）
- 4、 ステロイド剤の注入
関節内に直接ステロイドを注射します。
- 5、 外科的手術
関節円板の手術
- 6、 超音波、低周波マッサージ 等

